

放射性物質汚染に関わる今年度の取り組みから



- **5/12ホントのことを知りたい！学習シリーズ**
「放射性物質汚染と私たちの暮らし その1」

講師；(独)放射線医学総合研究所緊急被ばく医療研究センター長 明石 真言氏

厚労省医薬食品局食品安全部監視安全課長 加地 祥文氏

〈主な質問〉*放射性物質の種類と影響 *基準値の決め方 *内部被ばく *乳幼児への影響 *検査法
*減らす方法 *水産物汚染 *食物連鎖 *制限解除の手続き *汚染と食品安全の具体的な考え方やポイント *物理学的半減期、生物学的半減期について牛乳、肉など具体的な食品ごとの内容 *魚介類への影響 *半減期の長いセシウム等による土壌汚染対策 *お米、果物、お酒など、今後の農作物への影響 *広島、長崎、スリーマイル、チェルノブイリにおける線量変化 *事故後の汚染状況の変化など

- **5/19学習「東日本大震災」と「放射性物質汚染問題と私たちの暮らし」**

★岩手県消費者団体連絡協議会と福島県消費者ネットワーク
からの報告(伊藤 慶子氏・佐藤一夫氏)

●報告「漁業者の現状について」

全国漁業協同組合連合会漁政部長 大森 敏弘さん)

●講演「水産物の放射性物質汚染について」

講師；水産庁増殖推進部研究指導課研究管理官 森田貴己氏

——1954年ビキニ水爆実験以降の国の取り組みを含めて、放射性セシウムの魚体内での動き方や、暫定規制値、モニタリング検査などについてお話しいただいた



● 11/21 ホントのことを知りたい！！ 学習シリーズ

「放射性物質汚染問題と私たちの暮らし 2
～安心して食べるために 知っておきたいこと～」

★独立行政法人 放射線医学総合研究所

理事 明石 真言さん

★農林水産省 審議官(消費安全局) 姫田 尚さん

★消費者庁 消費者政策課長 黒田 岳士さん



● 12/3「第50回全国消費者大会」報告とパネルディスカッション1

「被災者を支援し、被災地の復興のために必要なことは何か」

- 液状化現象による住宅被害
千葉・茨城公団住宅自治会協議会袖ヶ浦団地自治会長 佐藤志郎さん
- 放射性物質汚染と福島県民の状況
福島県消費者ネットワーク事務局長 佐藤一夫さん
- 大学生による被災地支援活動
全国大学生協連全国学生委員 富川竜生さん
- 被災地自治体からの報告
陸前高田市市長 戸羽太さん
- コーディネーター；NHKエグゼクティブアナウンサー 古屋和雄さん



2011年度の「地方消費者グループフォーラム」における学びあいと情報共有！ ～消費者庁と各ブロック実行委員会の共催・全国8会場・1,249名参加～



3/21東北ブロック
「放射能から食の安全を考える」
分科会がもたれた



11/29 北海道「食品と放射能」
水産庁・森田研究管理官講演



3/6関東ブロック
松原消費者担当大臣がごあいさつ



1/27 中国・四国ブロック
分科会の様子・福嶋長官も参加



2/24北陸ブロック
分科会「食の大切さを語り合おう」



2/15九州沖縄ブロック
分科会「食の安全・安心問題」